

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
1)ハード対策の主な取り組み	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	・バイピング対策 ・流下能力対策(堆積土の掘削や樹木の伐採) ・堤防や拡幅等の整備 ・変状などが確認された箇所の速やかな修繕	実施状況	バイピング対策 流下能力対策	継続実施			広域河川改修事業21河川、総合流域防災事業2河川をはじめ、県単独事業においても堤防や河道拡幅等の整備を実施 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施 堤防点検等を実施し、緊急の修繕が箇所の対策を実施	発災後から随時 (主には非出水期)							
			今後の予定	継続実施	R4年度～			現在の取り組みを継続	継続実施							
	■危機管理型ハード対策	・堤防天端の保護 ・堤防要法尻の補強	実施状況	堤防天端の保護	H28年度			優先順位の高い河川の合流点等において天端舗装を実施	R2年度							
			今後の予定	整備済	整備済			優先順位の高い河川の合流点等において天端舗装を実施	～R3年度							
	■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	事務所HP公開ライブカメラ(71箇所)整備済	整備済			危機管理型水位計等の増設(97箇所) 平成30年度～令和元年度で97箇所増設 (吉井川水系 30箇所、旭川水系 12箇所、高梁川水系 19箇所、その他 36箇所)	～R2年度							
			今後の予定	整備済	整備済			令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開済みであり、更なる増設については、運用状況等を踏まえ、個別に検討を行う	継続実施							
	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況								緊急告知ラジオを市有施設、町内会、自主防災組織などに配布 防災行政無線(アナログ、デジタル)、緊急告知ラジオ放送設備の改良 緊急告知ラジオの一般販売 緊急告知ラジオの一般販売	H26～R1年度 H31～R2年度 R3年度 R4年度	H26～28年度の3箇年で、市内49箇所を整備	H26～28年度	実施済み FM無線中継局(緊急告知ラジオ用)の整備 移動系代替整備としてMCA無線機を導入 緊急告知ラジオ配布 緊急告知ラジオの配備促進	H30年度 R1年度 R2年度～ R2年度～ 継続実施	
		今後の予定														
	・重要水防箇所の見直し	実施状況	令和3年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(令和2年度の河川事業実施状況を踏まえた見直し等)	R3年度				令和3年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸開の適正化に伴う廃止等)し、GISを活用した情報高度化の運用開始	～R3年度							
		今後の予定	令和4年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(令和3年度の河川事業実施状況を踏まえた見直し等)	R4年度				令和4年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸開の適正化に伴う廃止等)	R4年度～							
	・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	保有する水防資機材の状況を平時管理し、必要に応じて補充を実施	R2年度				定期的に各水防倉庫における水防資機材の備蓄状況を確認し、不足等が生じれば適宜補充を行っている	H29年度～	水防倉庫の資機材点検、補充 町内会への備蓄土の土のう袋提供 一般市民への土のう配布	R3年度	土のう袋及びブルーシート等を計画的に備蓄	～R1年度	市の職員を中心に水防資機材の確認、資機材を使った水防訓練を行った	H30年度 R3年度	
		今後の予定	継続実施	継続実施				現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R4年度	継続実施	継続実施	不足した資材確保の継続実施	継続実施	
	・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)設置済	～R元年度				<危機管理型水位計等の増設(97箇所)> 平成30年度～令和2年度までに97箇所増設(吉井川水系 30箇所、旭川水系 12箇所、高梁川水系 19箇所、その他 36箇所) <量水標> 水位計に合わせて設置 <河川監視カメラの増設(67基)> 令和元、2年度で67箇所増設(吉井川水系 18箇所、旭川水系 19箇所、高梁川水系 14箇所、その他 16箇所)	～R2年度							
		今後の予定	整備済	整備済				<水位計・カメラ> 令和2年度増設箇所については、令和3年度の出水期までに公開済みであり、更なる増設については、運用状況等を踏まえ、個別に検討を行う	R3年度(予定)							
	・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況	河川・道路管理者が連携し避難階段を整備	H29年度												
		今後の予定	整備済	整備済												
	・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況	令和2年5月29日治水協定を締結済 令和3年11月30日ダム洪水調節機引き続き洪水調節機能の強化に向けた取組を推進	R2年度～				操作規則等の点検を実施し、必要なダムについては、令和3年4月に、操引き続き、適正なダム運用となるよう、適時、操作規則等の見直しを図る	～R3年度							
		今後の予定														
	・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	実施状況	令和3年度出水期前に実施した「洪水予報連絡会・水防連絡会」にて、樋門の操作・管理・連絡体制に関する情報提供を実施済	R3年度～				操作実施者の負担軽減や緊急時の迅速かつ確実なゲート開閉等を目的とし、無動力化(フラップゲート化)を実施	R3年度							
		今後の予定	継続実施	継続実施				今後も樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保のため、関係機関との連携を図る	継続実施							
	・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況	ドローンを活用した堤防・護岸等の点検可能箇所の検討を実施	R3年度～				先行事例の情報収集等	R3年度							
		今後の予定	ドローンを活用した点検を実施	R4年度～				引き続き、先行事例の情報収集・研究に努める	継続実施							
	・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況						過去の被災状況、流下能力、土地利用状況などを見ながら、緊急性や必要性の高い箇所から推進 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施	発災後から随時 (主には非出水期)	平成30年豪雨で大きな被害があった排水区を加えた重点地区において、雨水幹線管きよ、ポンプ場の下水道整備を推進 町内会への可搬式ポンプの無償貸与	R3年度					
		今後の予定						現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R4年度					
・応急的な避難場所の確保	実施状況	自治体からの要請があれば検討	R3年度				-	-								
	今後の予定	継続実施	R4年度～				-	-								

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取り組み	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキング対策 ・流下能力対策(堆積土の掘削や樹木の伐採) ・堤防や拡幅等の整備 ・豪状などが確認された箇所の速やかな修繕 	実施状況										
			今後の予定										
	■危機管理型ハード対策	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防要法尻の補強 	実施状況										
			今後の予定										
	■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備 	実施状況	雨量計9箇所設置済み	設置済								
			今後の予定	継続実施	—								
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 	実施状況	各戸告知放送端末(FM)整備済	R3年度	H30年度完了	H30年度	町防災行政無線をデジタル化町内全世帯へ個別受信機を無償貸与(H25年度)	H25年度	IP告知無線機の機器更新実施町全体の100%実施済	~R2年度	IP無線の整備(75台)	R3年度	
		今後の予定	未定	—	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—	未定	未定	町内告知放送設備(FM告知)の設置	継続実施	未定	未定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・重要水防箇所の見直し 	実施状況											
		今後の予定											
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備 	実施状況	県民局との管理協定(陸揚資材、管理)	実施中	未実施	R3年度	未実施	R3年度			全消防団員へ視認性の高い活動服及び雨合羽を配備自治会へ土嚢袋等を配付、全世帯へ避難時防災セットを配付	R1年度 R2年度	
		今後の予定	継続実施	継続実施	検討中	検討中	未定	未定			資機材等の数量の確認及び不足した資機材の確保	継続実施	
	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置 	実施状況			村管理2か所、県管理1か所(水位計、河川監視カメラ)設置済み	~R2年度	町内2箇所に河川監視カメラを設置済み(H25年度)今年度町内3箇所目の河川監視カメラを設置	H25年度 R3年度	R1年度に河川カメラの更新、新設(更新10か所、新設5か所)カメラデータについては、みさきTVデータ放送で、静止画像、ライブ配信、美咲町HPでも情報提供	~R1年度			
		今後の予定			未定	未定	未定	未定	未定	R3年度以降			
	<ul style="list-style-type: none"> ・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備 	実施状況											
		今後の予定											
	<ul style="list-style-type: none"> ・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討) 	実施状況											
		今後の予定											
	<ul style="list-style-type: none"> ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保 	実施状況											
		今後の予定											
	<ul style="list-style-type: none"> ・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン) 	実施状況											
		今後の予定											
	<ul style="list-style-type: none"> ・内水の排水活動に資する基盤等の整備 	実施状況								未実施	R2年度	未実施	R3年度
		今後の予定								未定	未定	未定	未定
<ul style="list-style-type: none"> ・応急的な退避場所の確保 	実施状況						未実施	R3年度					
	今後の予定						未定	未定					

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市			
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
2) ソフト対策の主な取り組み ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み																	
■ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																	
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、汎濫シミュレーション(旭川/百間川における国管理区間)	実施状況	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表済	H29年度												
			今後の予定	公表済	公表済												
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況					洪水予報河川等25河川の洪水浸水想定区域図を公表済(吉井川水系13河川、旭川水系4河川、高梁川水系3河川、その他5河川)その他中小河川20河川の洪水浸水想定区域図を公表済(吉井川水系5河川、旭川水系5河川、高梁川水系2河川、その他水系3河川)	～R3年度								
			今後の予定						水害リスク情報の空白域を解消・縮小するため、その他中小河川の洪水浸水想定区域図を順次作成・公表	R4年度～							
		・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況	幹事会で広域避難の協定事例を構成機関へ共有済	R2年度			広域避難に関する協定のひな形作成し、市町村に提示している	R1年度～	未実施		R3年度	検討中	R2年度	検討中	R1年度～	
			今後の予定	広域避難計画の作成、広域避難体制の構築に向けて、情報共有を実施	R4年度～			広域避難を検討する市町村に対し必要な情報提供を行う	継続実施	「岡山県災害時相互協定」と整合をとりながら策定、検討	継続実施	検討を維持		R4年度	検討を継続		R3年度
		・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるとまらことハザードマップ整備	実施状況	自治体からの相談に対応	R3年度		45河川の洪水浸水想定区域図を関係市町村に提供済 38河川について、早期提供に向け作業中	～R3年度	広域避難計画策定後、ハザードマップの作成を検討	H29年度～ R3年度	最新の災害リスクで表示した防災ハザードマップの改訂作業に着手	R3年度～	検討中 ハザードマップを更新			R1年度～ R3年度	
			今後の予定	継続実施		R4年度～		水害リスク情報の空白域を解消・縮小するため、その他中小河川の洪水浸水想定区域図を順次作成・提供	R4年度～	広域避難計画策定後、ハザードマップの作成を検討 避難場所の現地確認を行い災害種別に応じた避難経路・場所を検討	継続実施	防災ハザードマップの改訂	R4年度	検討を継続 ハザードマップを更新			R4年度
		・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	実施状況	避難確保計画作成率向上に向け、協議会等の場を活用し、事例や作成状況の共有を行う	R3年度		対象施設毎の水害リスク(浸水深・浸水継続時間)を調査し、市町村等を通じて施設管理者等に情報提供した	H29年度～	「避難確保計画の策定支援講習会」を実施(4回)	～R3年度	R2年度改定の地域防災計画に、該当する施設名を掲載	R2年度	要配慮者利用施設における避難訓練を実施済み 避難確保計画の作成を促進 避難確保計画・避難訓練の実施状況調査			H30年度 R1年度～ R2年度～	
			今後の予定	避難確保計画作成率向上に向け、協議会等の場を活用し、事例や作成状況の共有を行う	R4年度			施設管理者等が災害リスク情報を自ら把握できるよう、施設管理者向けの手引きを提供する	R3年度～	継続実施		R4年度	継続実施	R4年度	継続実施		
		・共助の仕組みの強化(水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等)	実施状況	タイムライン検討会を通じて情報共有 要配慮者マイ・タイムラインを福祉関係者へ説明会の開催	R3年度		大規模災害時の減災対策協議会に関する情報を市町村の高齢者福祉部局に対して情報提供を行っている	R1年度～ (年10回)	個別避難計画に関する説明会の開催	R3年度	現在福祉部局と協力し、個別避難計画の策定を進めている	R3年度～	個別避難計画作成に係る県のモデル事業に参加(防災・高齢・障害・健康各担当部局と共に)			R3年度	
			今後の予定	継続実施	継続実施			継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			R4年度
		・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況	ハザードマップポータルサイトにて洪水に係るリスク情報等を公開中	継続実施		おかもま全県統一型QISにより、防災情報の周知に努めている ハザードマップポータルサイトを活用し市町村のハザードマップ周知に努めている	H28年度～	未実施		R3年度					市ホームページに県のホームページへのリンクを追加	R3年度
			今後の予定	継続実施	継続実施			防災情報の周知について、積極的な広報に努める 市町村へハザードマップの電子化とポータルサイトへのリンク記載を呼びかける	継続実施	防災情報の周知について積極的な広報に努める	継続実施					継続実施	
		・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)	実施状況				—	—									
			今後の予定					—	—								
		・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況								内水ハザードマップを作成、配布、HP掲載、出前講座等での周知	R3年度					
			今後の予定									内水ハザードマップの配布、HP掲載、出前講座等での周知を継続実施	R4年度				

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
2) ソフト対策の主な取り組み ① 迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み													
■ 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等													
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(旭川/百間川における国管理区間)	実施状況										
			今後の予定										
		・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況										
			今後の予定										
		・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況			未実施	R3年度	未実施	R3年度	未実施	R2年度	未実施	R3年度
			今後の予定			検討中	検討中	未定	未定	広域的な避難の検討	R3以降	未定	未定
		・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるとまらごとハザードマップ整備	実施状況			未実施	R3年度	土砂災害特別警戒区域の指定結果を反映した土砂災害ハザードマップ改訂版を作成中	R3年度	未実施	R2年度	小学校区単位のハザードマップを作成(1地区)	R1年度
			今後の予定			検討中	検討中	未定	未定	浸水区域、土砂災害区域の見直し結果を反映したハザードマップの整備	R3以降	継続実施	継続実施
		・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	実施状況	避難確保計画は全施設で作成済、訓練の支援	R2年度	要配慮者施設も総合防災訓練に参加	R1年度	未実施	R3年度	防災計画に定められている施設について、個別計画の作成、訓練実施の啓発	R2~	避難確保計画の雛形を要配慮者利用施設所管課へ提供し、計画の作成支援を行った	R2年度
			今後の予定	継続実施	継続実施	定期的に実施	R4年度	未定	未定	未作成の施設への説明、作成依頼	R3~	継続実施	継続実施
		・共助の仕組みの強化(水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等)	実施状況	福祉部局と連携し、個別避難計画の策定を進めている		未実施		未実施		未実施		未実施	
			今後の予定	継続実施		未定		未定		未定		未定	
		・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況	想定最大規模掲載の防災マップを更新	R2年度	未実施	R3年度	県HPへのリンク設定済	実施済み	町ホームページに情報HPのリンクWeb版ハザードマップの整備	R1年度~R3年度	ハザードマップをHP上にデータ形式で掲載	R2年度 R3年度
			今後の予定	地域防災説明会・防災出前講座で周知	継続実施	検討中	検討中	未定	未定	継続実施	継続	継続実施	継続実施
		・浸水被害軽減地区の指定(水防法第15条の6)	実施状況							未実施	R2年度	未実施	R3年度
			今後の予定								未定	未定	未定
		・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況							未実施	R2年度	未実施	R2年度
			今後の予定								地域自主防災を中心に内水想定図の作成を推進	R3以降~	未定

進捗管理シート(旭川)

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■情報の伝達・発信	・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	実施状況	水系一体のタイムラインの精度向上のため、検討会を複数回実施	R3年度	未実施	R3年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確実に伝達し、市町村と協働でタイムラインを作成タイムライン記載内容や運用について再度確認するよう周知	H30年度	運用に関する検討会やワークショップを実施済み	R1年度	作成済ではあるが、H30年岡山県にて設置していただいた水位計を利用し、精度の高い発令に努める	R1年度～	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協働でタイムラインを作成している	継続実施	
		今後の予定	PDCAサイクルにより改善	R4年度～	未定	R4年度～	水害タイムラインへの反映を考慮して市町村の避難勧告型タイムラインの充実を呼びかける	～R3年度	タイムラインの精度向上	R4年度	継続実施	継続実施	早めの避難情報の発令に備える避難所の早期開設 河川巡視等の報告を災害対策本部会議で共有し、避難情報の発令の判断材料とする	継続実施	
	・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	実施状況	水系一体のタイムラインに拡充済	R元年度	未実施	R3年度	旭川水害タイムラインの運用・改善	～R3年度	水系全体の自治体も参加する体制に変更した	R1年度	未実施	R2年度	吉井川・旭川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	
		今後の予定	PDCAサイクルにより改善	R4年度～	未定	R4年度～	継続実施	継続実施	関係機関との連携強化	R4年度	未定	未定	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	R4年度	
	・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	未実施	R3年度	未実施	R3年度	リエゾン(情報連絡員)を市町村に派遣し、水害特別訓練を実施した	R1年度～	未実施	R3年度～	未実施	R2年度	赤磐市総合防災訓練を実施し、時系列に沿った実動訓練を実施 岡山県水害特別防災訓練に参加して風水害に関する図上訓練を実施	H30年度 R1年度	
		今後の予定	自治体が実施する災害訓練、水防訓練に積極的に参加	R4年度～	未定	R4年度	引き続き、市町村の実情に応じた避難訓練等と連携した訓練を行う	継続実施	岡山市総合防災訓練を実施予定	R4年度	未定	未定	赤磐市総合防災訓練を実施予定	R4年度	
	・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況	水害リスクラインによる水位情報の提供、氾濫開始相当水位の提供	R3年度	オンラインを含む自治体や自主防災組織などへの講演	R3年度	水防協議会(R1.5.15)において、水位周知河川の指定区域の変更を公表(1河川) R2.8.6旭川の県管理区間(大臣管理区間上流端～旭川ダム下流)を洪水予報河川に指定 第4回岡山県大規模氾濫減災協議会(H30.5.16)において、全市町村に浸水実績等の資料を提供 現行基準水位の運用等について、関係市町村にアンケート調査を実施 笹ヶ瀬、足守川洪水予報河川の基準水位の見直しを検討	～R3年度							
		今後の予定	継続実施	令和4年度～	「キキクルうす紫」と「濃い紫」の統合と「黒」の開始(令和4年6月予定)	R4年度～	笹ヶ瀬、足守川洪水予報河川の基準水位の見直しを引き続き検討 水位周知河川の新規指定を検討	R4年度～							
	・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況	災害対策基本法による改正に伴う新たな避難情報及び6時間先の水位予測を踏まえた洪水予報警報発令及び発表形式の見直しの実施	R3年度	洪水警報、注意報の基準変更と、洪水予報の細目協定及び実施要領の改正	R3年度	令和元年度、水位周知情報(氾濫警戒情報、氾濫危険情報)の通知形式に警戒レベル相当や水位状況のポンチ絵を追加するなど見直しを行った 課題が生じた場合は、必要に応じて現在の取り組みを継続	R1年度～							
		今後の予定	必要に応じて見直しを行う	R4年度～	必要に応じて見直しを行う	R3年度～		継続実施							
	・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの適切な運用)	実施状況	ホットライン構築済	構築済			H30年度出水期前にホットラインを構築、R1年度出水期前に内容を拡充してきており、対象河川について、ホットラインによる情報提供を行っている	～R3年度	ホットライン構築済み	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度	ホットライン構築済	R1年度	
		今後の予定	継続実施	継続実施			今後も引き続き、ホットラインによる情報提供を行う	R4年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
	・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	スマートフォン等によるプッシュ型洪水情報発信の実施	R2年度	危険度の高まりのプッシュ型サービスを5つの民間事業者と協力で実施	R3年度	登録制防災情報メールで、気象情報や水位情報、指定河川洪水予報を発信	R1年度	防災メールの普及を推進 LINEによる防災情報の配信を開始	H30年度	防災メールをはじめ、ツイッターやフェイスブックなどで防災情報を配信している	R1年度～	出前講座など、地区住民を対象に登録型防災メールの普及啓発実施	H28年度～	
		今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	R4年度～	防災情報メールや防災アプリの登録者数を増やす取組を引き続き実施する	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)に情報をリアルタイムで提供中	R2年度			危機管理型水位計等を平成30年度～令和2年度で97箇所増設 河川監視カメラを令和元、2年度で67箇所増設し「川の水位情報」で、水位・河川監視カメラ画像などの情報 更新する増設については、運用状況等を踏まえ、個別に検討を行う	～R3年度							
		今後の予定	継続実施	継続実施				継続実施							
	・メディア連携分科会を設置し、メディア連携施策のフォローアップ	実施状況	岡山河川事務所公式Twitterを開設	R元年度	—	—									
今後の予定		継続的な情報発信	R4年度～	—	—										
・SNSの活用	実施状況	Twitterを活用した防災情報発信	R2年度			未実施	R3年度	LINE、Twitter、Facebookを活用した防災情報の伝達	R3年度	ツイッターやフェイスブックなどで防災情報を配信している	H24年度				
	今後の予定	継続的な情報発信	継続実施			活用について検討	R4年度	継続実施	R4年度	継続実施	継続実施				
・水害リスクラインによる情報発信	実施状況	R元年から運用開始	継続実施												
	今後の予定	気象庁危険度分布と統合し、直轄河川管理区間部分のリスクライン表示等を行う	R4年度												

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■情報の伝達・発信	・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	実施状況	市町村の避難勧告の発令等に着目した関係者一体型タイムライン(防災行動計画)策定済	R1年度	避難情報が発令される状況が発生した際に、後日タイムラインの振り返り及び修正を実施	R3年度	中上流域におけるタイムラインを作成中	R3年度	未実施	R2年度	実施済み	H29年度～	
			精度向上を検討	R3年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	安全な避難確保が行えるようなタイムラインへの見直しを実施	随時	継続実施	継続実施	
	・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	実施状況	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R2年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R3年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R3年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R2年度	旭川水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R2年度	
			継続実施	継続実施	継続実施	R4年度	出水期までに策定予定	R4年度	出水期までに策定予定	R3年度	継続実施	継続実施	
	・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	県団上訓練への参加	R2年度～	総合防災訓練時に実施	R1年度	未実施	R3年度	未実施	R2年度	実施済み 岡山県水害対応訓練実施	H29年度～ R3年度	
			継続実施	R2年度～	定期的実施	R3	未定	未定	各種訓練への参加及び訓練	R3年度～	継続実施	継続実施	
	・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況											
			今後の予定										
	・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予警報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況											
			今後の予定										
	・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの適切な運用)	実施状況	ホットラインは構築済	H30年度	ホットラインを構築(堤防決壊等の情報を把握したときに連絡)	R2年度	ホットラインは構築済	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度	
			継続実施	継続実施	継続実施	R4年度	継続実施	R3年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
	・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	登録制メール・LINEでの情報配信	R3年度	未実施	R3年度	LINE等による登録制メールを整備し、防災情報を配信(R1年度整備)	R3年度	登録制メールの普及 エリアメール登録	R2年度	防災情報メール配信サービスの実施 LINE連携実施	H28年度～ R3年度	
			今後の予定	防災メールの啓発・普及	R3年度～	検討中	検討中	未定	未定	未定	未定	継続実施	継続実施
	・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	河川ライブカメラ増設7箇所	R3年度			町内の河川監視カメラの映像を町HPで公開(H25年度から)	R3年度					
			継続して公開	R3年度～			継続実施	継続実施					
	・メディア連携分科会を設置し、メディア連携施策のフォローアップ	実施状況											
			今後の予定										
	・SNSの活用	実施状況					町のLINEにて登録者に対し気象情報や防災情報を発信	R3年度	未実施				
			今後の予定				継続実施	継続実施	未定				
・水害リスクラインによる情報発信	実施状況												
		今後の予定											

項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		玉野市		赤磐市			
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
2)ソフト対策の主な取り組み	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	水防災に関する講習会や出前講座を複数回実施	令和2年度	自治体や自主防災組織などへの講演を行った	R3年度	地域での研修等を利用し、防災知識の普及啓発活動を実施する	H29年度～	出前講座等における防災情報を提供する中で、水防災意識社会に関する情報を提供	R3年度	防災全般について、H31年は25回実施。今後メニューの中に、水防災について特化したものを検討	R1年度～	出前講座を実施 非常食の体験試食を実施	R1年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、地域での研修等を活用し、防災知識の普及啓発活動を実施する	継続実施	継続実施	R4年度	継続実施	継続実施	引き続き出前講座などで市民に対して啓発を行う	継続実施		
		・住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)の普及促進	実施状況	マイタイムライン検討ツール「逃げキッド」を作成済	R元年度			講習会や広報の機会を捉えて、マイタイムラインの紹介を行った	R1～	出前講座等において啓発	R3年度	出前講座で実施 マイタイムラインの作成	R1年度				
			今後の予定	意識醸成につなげるため、講習会等を実施	継続実施			講習会や広報の機会を捉えて、マイタイムラインの紹介を行う	継続実施	継続実施	R4年度	引き続き出前講座などで市民に対して啓発を行う	継続実施				
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	小学生を対象とした防災教育を実施	R2年度	2つの小学校で防災講演を行った	H29年度～	小学校の低・中・高学年それぞれの発達段階に合わせた「防災ワークシート」を作成して県内小学校に配布し防災教育の促進に努めた。防災ワークシートは電子データ化し、県のHPで公開	R1年度	市立学校への学校安全アドバイザー派遣を実施	R3年度	未実施	R2年度	キラリ安全フェスティバルを開催し、気象台にも参加いただき、気象台ブースにて啓発を行っていた。防災授業を小学校で実施	H28年度～ R1年度 R2年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施	未定	継続実施	防災ワークシートの電子データをHPに公開	継続実施	130校実施予定	R4年度	未定	未定	防災授業を引き続き実施	継続実施		
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況	小学生を対象とした防災カードゲームの普及及び防災動画の視聴	R3年度												
			今後の予定	継続実施	継続実施												
		・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	継続実施	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	H29年度～	HPや広報誌、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告による災害情報の広報・周知を行った。令和3年度7月に「もたらうの防災」の改訂を行い、住民向け広報を強化予定した	H30年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を行う	R3年度	未実施			地区防災マップを作成済み 広報の特集記事を掲載 出前講座を実施	H29年度～	
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続きあらゆる機会を捉え積極的な広報に努める	R2年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	R4年度	未定	未定	引き続き実施	継続実施		
		・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況					地元小学生を対象に災害対策教室等を実施	R3年度	未実施 平成30年7月豪雨災害記録誌を作成	R2年度	未実施	R2年度	出前講座で過去の災害を紹介	R3年度		
			今後の予定					継続実施	継続実施	特に予定なし	R3年度	未定	R3年度	継続実施	継続実施		
・不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	実施状況	事業者からの問い合わせに対応	R3年度	問い合わせ等があれば対応	R3年度	HPに掲載し情報提供	R3年度	現在ハザードマップはありませんが、県の浸水想定区域図を基に上表を提供している	R4年度中に、ハザードマップを作成する予定				市防災マップの情報を提供	R3年度			
	今後の予定	継続実施	継続実施			継続実施	継続実施	継続実施	R4年度				継続実施	継続実施			
2)ソフト対策の主な取り組み ②氾濫特性に応じた効果的な水防活動																	
2)ソフト対策の主な取り組み	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団(水防活動を担う消防団を含む)等が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	実施状況	令和3年出水期前に水防団と合同で重要水防団所の点検を実施済	R2年度					実施済み	R1年度		河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～			
			今後の予定	継続実施	継続実施					継続実施	継続実施		未定	～R4年度			
		・関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(令和3年度～)実働水防訓練の実施	実施状況	水防技術講習会を実施	R3年度	未実施	R3年度	関係機関の連携による県水害特別防災訓練(図上・実働訓練)および水防技術向上に資する岡山県水防技術講習会を実施した	R2年度～	毎年度、6月に水防訓練を実施(R3年度はコロナの影響で中止)	R3年度			市の職員を中心に資機材を使った水防訓練を実施 岡山県水害特別防災訓練に参加して市図上訓練、自主防災組織実働訓練を実施 岡山県水害対応訓練に参加	H30年度～ R1年度 R3年度		
			今後の予定	水防演習や各自自治体の訓練に積極的に参加	R4年度～	水防演習や各自自治体の訓練に積極的に参加	R4年度～	出水期前に訓練を実施し、風水害に対する応急対応力の向上を図る	継続実施	継続実施	継続実施			赤磐市総合防災訓練を実施	R4年度		
		・水防活動の担い手となる水防団(水防活動を担う消防団を含む)員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団(水防活動を担う消防団を含む)確保に係る取組)	実施状況	岡山河川事務所HPに水防団員を募集している旨の記事掲載済	継続実施							実施済み	H30年度		実施済み	H28年度～	
			今後の予定	継続実施	継続実施							継続実施	継続実施		市ホームページや広報誌等で募集していく	継続実施	
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	災害拠点病院の洪水対策検討会にオブザーバーとして参加し、技術的助言を行った	R2年度			市町村が適切な災害対応を行えるよう、業務継続計画(BCP)の作成や災害時の受援体制の整備を働きかけた	H29年度～	未実施	R3年度				未実施	R2年度	
			今後の予定	引き続き、技術的助言を行う	R4年度～			引き続き業務継続計画(BCP)の作成、受援体制の整備を働きかける	継続実施	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有	継続実施				未定	～R4年度	
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	地域の建設業者による水防支援体制構築済	継続実施					協定内容の確認を行い、内容に修正等が必要な場合は協議し修正する	H30年度	玉野建設業協会と災害協定を締結している	R2年度	赤磐市建設業協会と協定締結 赤磐市総合防災訓練を実施し、協定に基づき土砂撤去、道路啓開訓練を実施	H18年度 H30年度		
			今後の予定	継続実施	継続実施					継続実施	継続実施	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—	赤磐市総合防災訓練の中で実施予定	R4年度		
		2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一目も早く解消するための排水対策															
		2)ソフト対策の主な取り組み	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	作成した排水計画を被災協会で共有し、関係市町に送付済	R2年度			H30.7月豪雨時のポンプ稼働状況について、関係市町村に調査を行い、一部の施設で操作規則が作成された	～R3年度	国が作成する計画の情報を共有	R3年度	情報共有一実施済 排水計画一未実施	R1年度(情報共有)	未実施	R2年度
今後の予定	作成した排水計画を基にした訓練の実施				継続実施			必要な対策を関係市町村と協議しながら検討を進める	継続実施	継続実施	R4年度	未定	未定	未定	～R2年度		

項目	事項	内容	状況	真庭市		新庄村		久米南町		美咲町		吉備中央町			
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
2)ソフト対策の主な取り組み	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	自主防災組織の避難・防災訓練	～R2年度	未実施	R3年度	未実施	R3年度	自治会、ケア会議等での出前講座などを実施	年間	公民館単位の防災講座の実施 自主防災組織の育成・強化	H29年度～ R2年度～		
			今後の予定	継続実施	R3年度～	検討中	検討中	検討中	検討中	出前講座などを活用しながら、防災意識向上を実施していく	随時	継続実施	継続実施		
		・住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)の普及促進	実施状況								地域自主防災組織を中心に啓発を実施	R3～			
			今後の予定								継続実施				
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	学校、保護者からの要請で実施	R2年度	R1年度実施済み	R1年度	未実施	R3年度	中学校区での危険箇所の把握及び非常時の訓練など小学生を対象とした、消防団による防災教育などを実施	R2年度	小学生を対象とした防災教育の実施	R2年度～		
			今後の予定	継続実施	R3年度～	定期的な実施を検討	R4年度	未定	未定	継続実施	随時	継続実施	継続実施		
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況												
			今後の予定												
		・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	広報、説明会などで周知	R2年度	広報・周知を定期的実施	R3年度	広報紙等による防災情報の周知	R3年度	ポスターの掲示 広報誌での啓もう活動	R2年度	広報紙等による周知	R2年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続	継続実施	継続実施		
		・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に挙げる	実施状況	地域防災説明会で地域ごと資料作成、発表	R2年度	未実施	R3年度	未実施	R3年度	未実施	R2年度	未実施	R3年度		
			今後の予定	継続実施	R3年度～	検討中	検討中	未定	未定	地域での防災訓練や学習会での地域での災害の継承を随伴	R3年度～	未定	-		
・不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	実施状況	R3.3に改訂したハザードマップを提供		未実施		未実施	R3年度	未実施		未実施					
	今後の予定	継続実施		未定		未定	未定	未定		未定					
2)ソフト対策の主な取り組み ②氾濫特性に応じた効果的な水防活動															
2)ソフト対策の主な取り組み	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団(水防活動を担う消防団を含む)等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	実施状況												
			今後の予定												
		・関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(令和3年度～)実働水防訓練の実施	実施状況	綾こう操作訓練の実施	R2年度	定期的実施	R3年度	未実施	R3年度	未実施	R2年度	消防団等を中心とした排水訓練	H29年度		
			今後の予定	定期的実施	R3年度～	定期的実施	R4年度	未定	未定	ポスター掲示	R3年度	水害対応訓練の実施	継続実施		
		・水防活動の担い手となる水防団(水防活動を担う消防団を含む)員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進 ・水防に関する広報の充実(水防団(水防活動を担う消防団を含む)確保に係る取組)	実施状況	消防機関(消防団)の人員増強	R2年度	村ホームページや広報誌等で募集	～R3年度	消防団員(水防団員)の募集を実施	R3年度	継続実施	継続	消防団員による募集活動	H29年度～		
			今後の予定	継続実施	R3年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続	継続	継続実施	継続実施		
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況			FM告知の整備に伴う告知端末の設置、運用、庁舎非常用発電機の維持	～R3年度			未実施	R2年度	職員用防災メールの整備等	H29年度～		
			今後の予定			継続実施	継続実施			未定	未定	継続実施	継続実施		
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	建設業協会との協定締結、加えて電気工事業者組合と協定締結	R2年度	村内事業者5社と協定を締結、災害時には社会基盤の応急復旧を行う	実施済み	町内建設業者との災害協定の締結	実施済み	建設業協会等との防災協定	継続	防災協定の締結(実施済み)	-		
			今後の予定	協定拡充	R3年度～	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	-	未定	未定	継続実施	継続	継続実施	継続実施		
		2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策													
		2)ソフト対策の主な取り組み	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況			未実施	R3年度	未実施	R3年度	未実施	R1年度	未実施	-
今後の予定						検討中	検討中	未定	未定	未定	未定	未定	R3年度		